



大切なのは相手への思いやり

「私作る人。僕食べる人」1970年代の某食品メーカーのCMキャッチコピーです。当時は違和感なくテレビや雑誌で見たり聞いたりしていたけれど・・・今、改めて考えてみるとおかしいですね。

7月3日(土)にSSプラザさんで開催された男女共同参画フォーラムでは、『炎上CMからよみとくジェンダー論』の著者、東京大学大学院総合文化研究科の瀬地山角教授が、少子高齢化社会を乗り越えていく新しい男女のあり方について、ご自身の経験や男性の視点を交えて講演されました。自分らしく生きるために、私たちはどう行動するのかを考える場となりました。

これらの学びを踏まえて、今回は、一番身近な「家庭」にスポットを当てて「家事・育児等の役割分担」を取り上げました。相手への思いやりから始まる家事・育児。日常生活は小さな家事でできています。自分の日常生活を振り返ってみませんか？

ある日の△△家



家事の分担どうしていますか？

家庭での仕事＝家事には、料理、掃除、洗濯、収納(片づけなど)、家計管理、保守(庭の草むしり、電球の交換など)、育児、地域での活動(ご近所との交流、PTAなど)、介護などがあります。皆さんのご家庭では、家事の分担はどうなっていますか？誰か一人だけに負担が重くのしかかっている！なんてことはありませんか。

社会生活基本調査(2016年)によると、家事関連時間は平日で約3時間、土・日曜日で約2時間男性より女性の方が長くなっています。6歳未満の子どもを持つ夫の家事・育児時間は1日当たり1時間23分で、他の先進国に比べて低水準にとどまっています。

家族の形態や生活スタイルは多様化してきました。

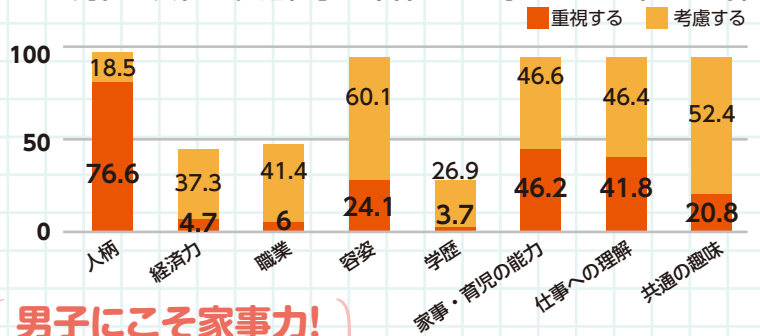
単身世帯や共働き世帯が増えた現代では、性別に固定した役割意識を捨てて、出来る人が出来る家事をするという発想が必要ではないでしょうか。誰かがやらなければならない「家族のための仕事」を家庭内で協力しあってやれたら素敵ですね。



チョット気になる、結婚で相手に求めるもの

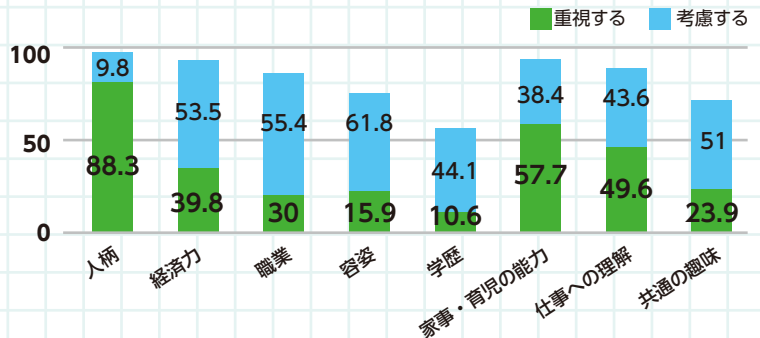
(出生動向基本調査：独身者(18～34歳) 対象調査2015)

男性が女性に結婚相手の条件として求めるもの(2015年)



男子にこそ家事力！

女性が男性に結婚相手の条件として求めるもの(2015年)



「おうち時間ミーティングシート」を使って、一緒に話をしてみましょう

なんとなく、役割分担ができていて、今のままで十分!! と思っているあなた。もしかしたら、パートナーは違う想いを抱えているかもしれません。おうち時間を一緒に見直したり、これからの生活について話したりするきっかけづくりには是非ご活用ください。

シートは、本市HPからダウンロードできます。

市男女共同参画センターでも配布しています。



ダウンロードはこちら!



家事分担のヒント

いざ分担! とはりきってみても、うまくいかずに逆に喧嘩のもとになってしまう…なんてこともよくあること。次の「コツ」を参考に、それぞれの家庭なりの「分担」を考えてみてください。

- 得意なこと、簡単なことから分担スタート
- 便利家電や「プロ」のサービスを利用
- 魔法の言葉「ありがとう」

相手の家事がいまいちでも、やってくれたことにまず感謝。口にする方も言われた方も悪い気はしないはず。言葉にしなければ伝わらないことが多くあります。

大切なのは、お互いのことを思いやる行動を起こすことです。

おすすめの本

くれよんのくろくん 著/なかや みわ



この本は大人になって子どもたちに読み聞かせをする時に会った本です。「クレヨン達は画用紙を見つけて大喜び! チョウチョ、お花と書いていきます。ところが、くろくんは仲間に入れて

もらえません。でも…」人間にもそれぞれ個性があり、個性的で良いと言われることもあります。個性が強すぎると仲間外れにされることもあります。個性をぶつけ合うのではなく、一人ひとりの個性を認めてあげる事が大事だということに気づかされる一冊です。(明)

相談窓口

何でも無料相談室

とき 毎週土曜日13時～16時
ところ SSプラザせんだい
TEL: 25-6056

配偶者等からの暴力

とき 週休日を除き9時～17時
ところ 市役所障害・社会福祉課
TEL: 20-6343(直通)
DV相談ナビ #8008

よりそいホットライン

(暮らしの困りごと、気持ちや悩みなど)

とき 24時間対応
TEL: 0120-279-338

編集後記

男女共同参画推進実行委員会、とらいあんぐる編集委員をさせていただき2年目になります。今回は7月3日に開催したフォーラムから「固定的性別役割分担意識」について、編集員で話をしました。性別や夫、妻、長男、嫁といった属性で判断するのではなく、一人ひとりの人権を尊重し、お互いできる人が出来ることをする。そんな、「思いやり」と「支え愛」の気持ちが、明るい未来を築いていくのではないのでしょうか。(TAKE)

編集/薩摩川内市男女共同参画推進実行委員会
作成/薩摩川内市企画政策部ひとみらい政策課
発行/令和3年10月
問い合わせ先/〒895-8650 薩摩川内市神田町3-22
TEL: 0996-23-5111(内線4741)
FAX: 0996-20-5570
Email: hitomirai@city.satsumasendai.lg.jp